

# 森林が支える、いのちと暮らし

集中豪雨による洪水や地震など災害の多発に自然環境の劣化…… 自然から遠ざかった都会生活のストレスに由来する疾病など、都市住民は漠然とした不安を募らせています。そこで、今年の第4回フォーラムでは、自然との絆をいま一度たぐり寄せ、私たちのいのちを守るために、豊かな暮らしと森林の関係を改めて考えます。

開催  
日時

2018年3月4日(日)  
13:00~16:00

開催  
会場

東京農業大学横井講堂

## プログラム

### [第1部]

- 基調講演 中村桂子氏（生命誌研究者）
- 話題提供 畠山重篤氏（NPO法人森は海の恋人理事長）

### [第2部]

- 山仕事 子供体験発表
- パネルディスカッション  
パネラー 畠山重篤氏（NPO法人森は海の恋人理事長）  
稻本 正氏（日本産天然精油連絡協議会専務理事）  
本郷浩二氏（林野庁国有林野部長）  
宮林茂幸氏（東京農業大学教授）  
コーディネーター 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞社健康医療・環境本部長）

主 催：公益社団法人・国土緑化推進機構、毎日新聞社  
共 催：東京農業大学  
後 援：林野庁

## 出演者プロフィール

### 中村桂子 (なかむら・けいこ)

JT生命誌研究館館長。東京大学理学部化学科卒業、東京大学大学院生物化学専攻博士課程修了(理学博士)。国立予防衛生研究所、三菱化成生命科学研究所人間自然研究部長などを務め、早稲田大学人間科学部教授、JT生命誌研究館副館長を経て現職。東京大学先端科学技術研究センター客員教授、大阪大学連携大学院教授も歴任。



### 畠山重篤 (はたけやま・しげあつ)

宮城県気仙沼の牡蠣養殖漁師。1943年中国上海生まれ。鉄分を含む森林土壤の養分が川から海に運ばれ、植物プランクトンを殖やし豊かな漁場を育むことから 89年、気仙沼湾上流部の山に木を植える「森は海の恋人」運動を開始、小中学の教科書に掲載。2012年、国連フォレスト・ヒーローズ(森の英雄たち)に選出。「牡蠣礼賛」「鉄は魔法つかい」など著書多数。



### 稻本 正 (いなもと・ただし)

日本産天然精油連絡協議会専務理事、正プラス(株)代表。1945年富山県生まれ。立教大学卒業後、76年に工芸村「オークヴィレッジ」を現在の岐阜県高山市に建設。お椀から建物まで幅広い木工芸を展開。現在は「人と森との共生、健康」を求め、天然アロマオイル(精油)に注目し、日本産の天然精油の品質確保を図るため同連絡協議会の設立(2017年)に関わる。



### 本郷浩二 (ほんごう・こうじ)

林野庁国有林野部長。1960年石川県生まれ。京都大学農学部林学科を卒業、82年林野庁入庁。青森営林局及び管内営林署で造林や森林経営に従事後、造林技術協力のためマレーシア・サバ州に3年間派遣。帰国後、熊本営林局小林営林署長など国有林野事業や民有林行政の現場業務の指揮を担当。その後、林野庁の各部局の業務を担う。2016年から現職。



### 宮林茂幸 (みやばやし・しげゆき)

1953年、長野市生まれ。東京農業大学地域環境科学部教授(森林政策学専攻)。博士(農学)。美しい森林づくり全国推進会議事務局長、国際森林年国内委員、ESD専門委員、東京都・神奈川県等森林審議会委員など全国組織や行政関連の要職を歴任するほか、多摩川源流大学運営委員長、山村再生支援センター代表なども務め、地域づくりにも積極的に関わっている。



### 斗ヶ沢秀俊 (とがさわ・ひでとし)

毎日新聞社健康医療・環境本部長兼東京本社編集編成局編集委員。1957年北海道生まれ。81年東北大学理学部物理学科卒、毎日新聞社入社。静岡支局、東京本社社会部、科学部(現科学環境部)をはじめ、ワシントン特派員、東京本社科学環境部長などを経て、2017年から現職。共著に「水爆実験との遭遇」「高速増殖炉もんじゅ事故」。

